

世界の米需給動向と政策（主査 小澤健二）

2000年代初頭以降、世界の米需給動向は1990年代までと大きく変化し、複雑な様相を呈している。世界の米需給動向を把握するには、主要諸国の米生産・消費の趨勢および当該諸国の米を中心とする食料・農業政策の動きを考察、検討することが要請される。とくにWTO交渉とも関係して、近い将来、日本国内の米流通および稲作経営は、世界の米需給動向、およびそれを背景とする米の貿易動向の影響を強く受けることが予想される。

このため、現在、論議をよんでいる日本の米政策との関連からも、最近の世界の米需給動向およびそれと連動する世界の米貿易動向や米の国際市場の構造を明らかにすることが要請される。日本の米政策にいかなる諸影響を与えるか、との視点のもとに世界の米需給動向と主要諸国の米政策を考察、検討することが本研究の趣旨である。それゆえ、世界の米需給動向を取り上げる際にも、日本の米政策に強い影響を与えることが予想される世界のジャポニカ米の貿易動向に一つの焦点を当てる。

本研究は、下記①の関係学識者で構成する②研究会を開催している。

① 研究会委員（敬称略、順不同）

谷 萩 眞 一（OMIC（海外貨物検査株式会社）社長）

菅 沼 圭 輔（東京農業大学 教授）

菊 池 眞 夫（千葉大学園芸学部長）

佐 伯 尚 美（前日本農業研究所研究員）

小 澤 健 二（日本農業研究所研究員・主査）

本所研究員：岸 康彦、服部信司、大賀圭治、李 侖美、亀若 誠（21年度のみ）

② 研究会の開催状況（敬称略）

第1回 平成21年10月23日（金）

「最近の世界の米需給動向」、講師：伊東正一（九州大学農学部教授）

第2回 平成21年12月18日（金）

「タイの米事情について」

講師：谷萩眞一（OMIC（海外貨物検査株式会社）社長）

講師：黒澤隆一（OMIC（海外貨物検査株式会社）企画開発部長）

第3回 平成22年1月8日（金）

「インドの米需給動向と関連する諸政策」

講師：藤田幸一（京都大学東南アジア研究所教授）

第4回 平成22年2月19日（金）

「中国の食糧（米）の需給動向と関連する諸政策」

講師：菅沼圭輔（東京農業大学教授）

第5回 平成22年7月21日（水）

「アフリカの食料需給動向」

講師：櫻井武司（一橋大学教授）

第6回 平成22年9月27日（月）

「緑の革命と灌漑－熱帯アジアとアフリカ－」

講師：菊池眞夫（千葉大学園芸学部長）

第7回 平成22年12月13日(月)

「インドネシアの米需給の現状とそれをめぐる諸問題」

講師：米倉 等(東北大学教授)

第8回 平成23年1月26日(水)

「豪州の米事情」

講師：岩崎正典(伊藤忠商事食糧カンパニー食糧部門市場調査室長)

第9回 平成23年4月18日(月)

「韓国の米需給動向と米政策をめぐる諸問題」

講師：倉持和雄(横浜市立大学教授)

第10回 平成23年5月16日(月)

「アメリカの米ー価格上昇、地域生産構造の変化、08年農業法、日米生産費比較ー」

講師：服部信司(日本農業研究所客員研究員)

第11回 平成23年7月4日(月)

「世界の米貿易動向と米の国際市場の特質」

講師：小澤健二(日本農業研究所研究員・主査)